

防災・減災①～出張！減災教室～

A組は5月30日(月)、B組は6月1日(水)、総合的な学習の時間に和歌山県総務部危機管理局危機管理・消防課の方をお招きして「出張！減災教室」を実施しました。

今回は「きいちゃんの災害避難ゲーム」という和歌山県が作成したボードゲームを使って『ゲーム1 津波から逃げ切ろう』『ゲーム2 みんなで協力して避難所運営をしよう』の2つのゲームに、縦割りグループで取り組みました。

『ゲーム1 津波から逃げ切ろう』は、大地震発生時に、自宅から避難場所まで30分以内に避難できるかというゲームです。1度目は、ただただ、避難所を目指しますが、家具やブロック塀が倒れているなど非日常的な場面に遭遇します。

2度目は、事前準備カードが加わります。家具を固定していたり、ハザードマップで避難経路をあらかじめ確認していたり、家族で避難場所を事前に相談していたり……と、事前に準備することでより確実に津波から逃げ切れることを学び、事前準備の大切さに気づきます。

『ゲーム2 みんなで協力して避難所運営をしよう』では、災害からの一次避難の後、避難所を運営する立場で避難所で起こる様々な課題に対応していきます。

各グループでいろいろと意見を出し合い、協力しながらゲームを進めていきました。楽しみながら、よく考え、大切な学びの時間となっていました。

また、今回、グループを1年生から3年生までの学年をミックスして縦割りグループを作りました。非日常的な場面では、幅広い年齢の人や全く知らない人と協力する必要があります。うまくコミュニケーションがとれ、協力できれば、より多くの人々の命が守れ、少しでも快適に避難所生活が送れるはず。そのために縦割りで活動しました。

A組はすでの月曜日に実施したのでおうちで話を聞いてくださっているかもしれません。この機会に、家の中の防災・減災、災害時の避難場所などをご家族で話し合ってもらいたいと思います。

※「防災・減災」は不定期で掲載します。

